

# 鋸南町の給与・定員管理等について

## 1 総括

### (1) 人件費の状況（普通会計決算）

区分	住民基本台帳人口 (R7年1月1日)	歳出額 A	実質収支	人件費 B	人件費率 B/A	(参考)前年度の 人件費率
R6年度	人 6,679	千円 4,811,179	千円 291,139	千円 930,350	% 19.3	% 18.2

### (2) 職員給与費の状況（普通会計決算）

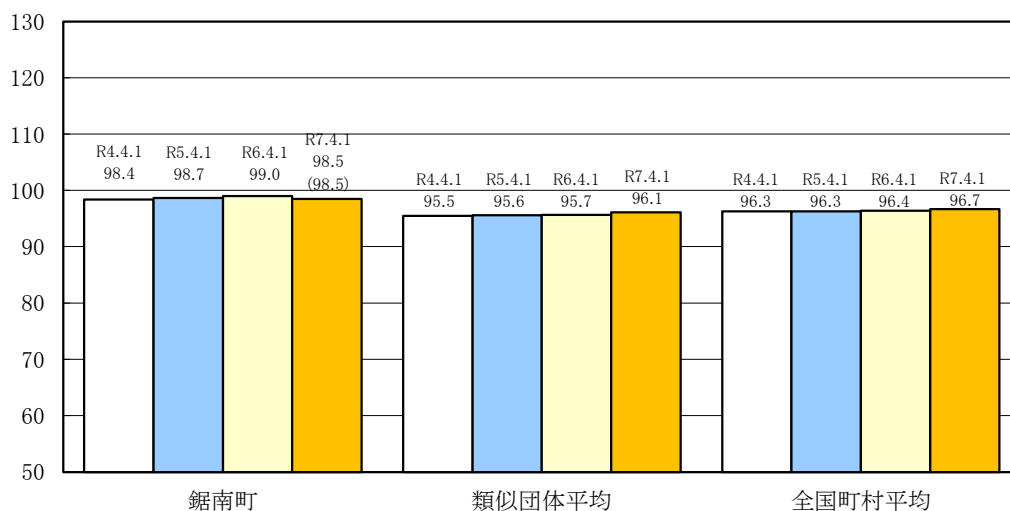
区分	職員数 A	給与費				(参考)一人当 たり給与費 B/A	(参考)類似団 体平均一人当 たり給与費
		給料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B		
R6年度	人 97	千円 321,917	千円 37,966	千円 122,568	千円 482,451	千円 4,974	千円 5,840

(注) 1 職員手当には退職手当を含まない。

2 職員数については、R6年4月1日現在の人数である。また、任期付短時間勤務職員、暫定再任用職員（短時間勤務）、定年前再任用短時間勤務職員及び会計年度任用職員を含まない。

3 給与費については、任期付短時間勤務職員、暫定再任用職員（短時間勤務）及び定年前再任用短時間勤務職員の給与費が含まれているが、会計年度任用職員の給与費は含まれていない。

### (3) ラスパイレス指数の状況



(注) 1 ラスパイレス指数とは、全地方公共団体の一般行政職の給料月額を同一の基準で比較するため、国の職員数(構成)を用いて、学歴や経験年数の差による影響を補正し、国の行政職俸給表(一)適用職員の俸給月額を100として計算した指数。

2 ( ) 書きの数值は、地域手当補正後ラスパイレス指数を指す。地域手当補正後ラスパイレス指数とは、地域手当を加味した地域における国家公務員と地方公務員の給与水準を比較するため、地域手当の支給割合を用いて補正したラスパイレス指数。

(補正前のラスパイレス指数 × (1 + 当該団体の地域手当支給割合) / (1 + 国の指定基準に基づく地域手当支給割合) により算出。)

3 類似団体平均とは、人口規模、産業構造が類似している団体のラスパイレス指数を単純平均したものである。

4 ラスパイレス指数（地域手当補正後ラスパイレス指数を含む）の算出に当たっては、60歳に達した

日後の最初の4月1日以後に支給される給料月額について、本来の給料月額の7割水準に設定される職員を除いている。

※ 7年4月1日のラスパイレス指数が、①3年連続で上昇している場合、②100を超えている場合について、その理由（給与制度又はその運用を踏まえ記載すること）

#### (4) 社会と公務の変化に応じた給与制度の整備（給与制度のアップデート）の実施状況について

【概要】国家公務員給与においては、行政職俸給表(一)において3級から7級までの初号近辺の号俸をカットし、これらの級の初号の俸給月額の上上げを行うとともに、8級から10級の隣接する級間での俸給月額の重なるの解消等を行っている。その他、各種手当について見直しを行っている。

##### ①給料表の見直し

[ 実施 未実施]

実施内容（実施（実施予定）時期、具体的な実施内容（未実施の場合には、その理由））

（給料表の改定実施時期）令和7年4月1日  
（内容）一般行政職の給料表について、国の見直し内容を踏まえ、3級から7級までの初号近辺の号給をカットし、これらの級の初号の給料月額の上上げを実施。（国の8級以上に相当する級がないため、隣接する級間での給料月額の上重なるの解消は実施していない。）

##### ②地域手当の見直し

実施内容（国基準における場合の支給割合及び当該団体の支給割合）

（支給割合）国基準2%に対し、鋸南町においても2%を支給。  
（実施時期）令和7年4月1日より実施。段階的に支給割合を引き上げることとし、令和7年4月1日時点は2%、令和8年4月1日からは4%を支給。

（参考）

	各年度の支給割合		
	令和6年度	令和7年度	令和8年度
国基準による支給割合	-	2%	4%
鋸南町の支給割合	-	2%	4%

##### ③その他の見直し内容

扶養手当、管理職員特別勤務手当について、国と同様に見直しを実施。（令和7年4月1日実施）

## 2 職員の平均給与月額、初任給等の状況

### (1) 職員の平均年齢、平均給料月額及び平均給与月額の状況（R7年4月1日現在）

一般行政職

区分	平均年齢	平均給料月額	平均給与月額	平均給与月額 (国ベース)
鋸南町	39.3歳	297,200円	340,894円	316,971円
千葉県	39.8歳	315,893円	424,453円	370,183円
国	41.9歳	332,237円	414,480円	— 円
類似団体	41.9歳	314,625円	367,764円	344,789円

- (注) 1 「平均給料月額」とは、R7年4月1日現在における各職種ごとの職員の基本給の平均である。  
 2 「平均給与月額」とは、給料月額と毎月支払われる扶養手当、地域手当、住居手当、時間外勤務手当などのすべての諸手当の額を合計したものであり、地方公務員給与実態調査において明らかにされているものである。  
 また、「平均給与月額（国比較ベース）」は、比較のため、国家公務員と同じベース（＝時間外勤務手当を除いたもの）で算出している。

### (2) 職員の初任給の状況（R7年4月1日現在）

区分		鋸南町	千葉県	国
一般行政職	大学卒	220,000円	225,600円	220,000円
	高校卒	194,500円	194,500円	188,000円

### (3) 職員の経験年数別・学歴別平均給料月額の状況（R7年4月1日現在）

区分		経験年数 10～14年	経験年数 15～19年	経験年数 20～24年	経験年数 25～29年
一般行政職	大学卒	284,700円	305,000円	382,600円	— 円
	高校卒	— 円	— 円	366,500円	— 円

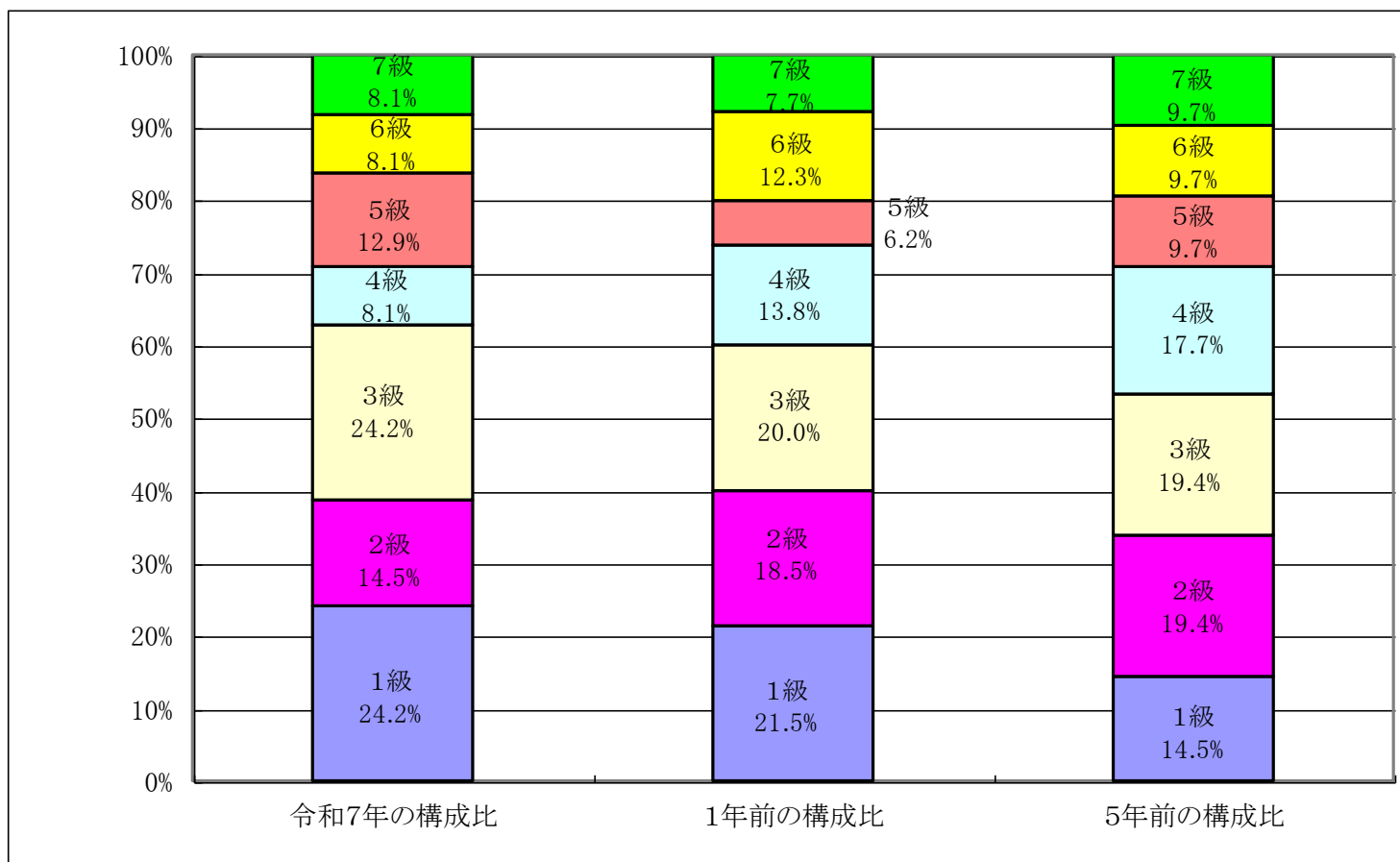
### 3 一般行政職の級別職員数等の状況

#### (1) 一般行政職の級別職員数及び給料表の状況 (R7年4月1日現在)

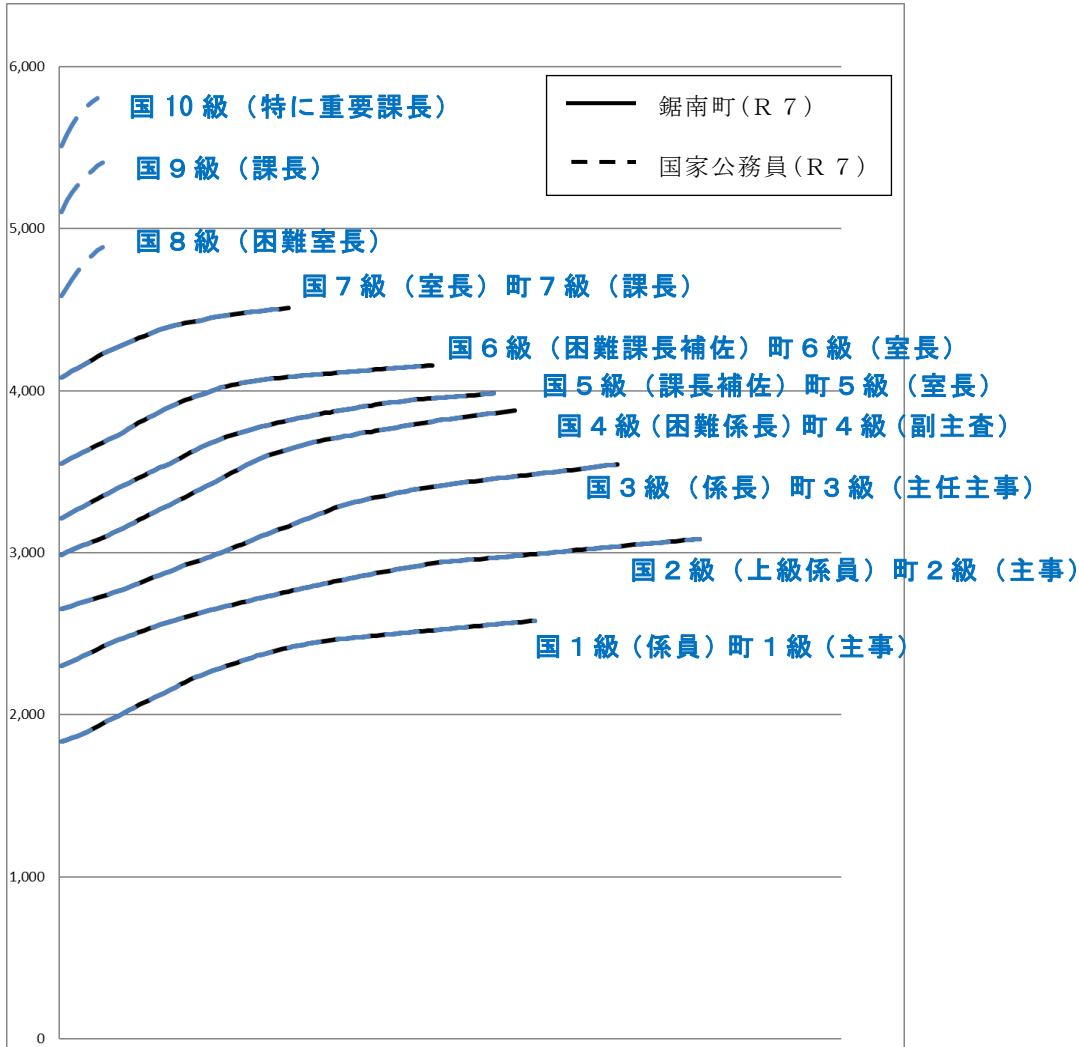
区分	標準的な職務内容	職員数	構成比	1号給の給料月額	最高号給の給料月額
1級	主事	15人	24.2%	183,500円	258,100円
2級	主事	9人	14.5%	230,000円	308,500円
3級	主任主事	15人	24.2%	265,300円	354,700円
4級	副主査	5人	8.1%	298,800円	387,700円
5級	室長・主査	8人	12.9%	321,300円	398,200円
6級	室長	5人	8.1%	355,200円	415,700円
7級	課長・室長	5人	8.1%	408,300円	450,900円

(注) 1 鋸南町の給与条例に基づく給料表の級区分による職員数である。

2 標準的な職務内容とは、それぞれの級に該当する代表的な職務である。



(2) 国との給料表カーブ比較表（行政職（一））（R7年4月1日現在）



(3) 昇給への人事評価の活用状況（一般行政職）

令和7年度中における運用		管理職員		一般職員	
イ 人事評価を活用している					
活用している昇給区分		昇給可能な区分	昇給実績がある区分	昇給可能な区分	昇給実施がある区分
上位、標準、下位の区分					
上位、標準の区分					
標準、下位の区分					
標準の区分のみ（一律）		/		/	
ロ 人事評価を活用していない		○		○	
活用予定時期		未定		未定	

## 4 職員の手当の状況

### (1) 期末手当・勤勉手当

鋸南町	千葉県	国
1人あたり平均支給額 (R6年度) — 千円	1人あたり平均支給額 (R6年度) 1,829千円	—
(R6年度支給割合) 期末手当 勤勉手当 2.50 月分 2.10 月分 (1.40) 月分 (1.00) 月分	(R6年度支給割合) 期末手当 勤勉手当 2.50 月分 2.10 月分 (1.40) 月分 (1.00) 月分	(R6年度支給割合) 期末手当 勤勉手当 2.50 月分 2.10 月分 (1.40) 月分 (1.00) 月分
(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5～15%	(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5～20% ・管理職加算 15・25%	(加算措置の状況) 職制上の段階、職務の級等による加算措置 ・役職加算 5～20% ・管理職加算 10～25%

(注) ( )内は、暫定再任用職員に係る支給割合である。

### ○ 勤勉手当への人事評価の活用状況 (一般行政職)

令和7年度中における運用	管理職員		一般職員	
イ 人事評価を活用している				
活用している成績率	支給可能な 成績率	支給実績が ある成績率	支給可能な 成績率	支給実績が ある成績率
上位、標準、下位の成績率				
上位、標準の成績率				
標準、下位の成績率				
標準の成績率のみ (一律)				
ロ 人事評価を活用していない	○		○	
活用予定時期	未定		未定	

### (2) 退職手当 (R7年4月1日現在)

鋸南町	国
(支給率) 自己都合 応募認定・定年 勤続20年 19.6695月分 24.586875月分 勤続25年 28.0395月分 33.27075月分 勤続35年 39.7575月分 47.709 月分 最高限度額 47.709月分 47.709 月分	(支給率) 自己都合 応募認定・定年 勤続20年 19.6695月分 24.586875月分 勤続25年 28.0395月分 33.27075月分 勤続35年 39.7575月分 47.709 月分 最高限度額 47.709月分 47.709 月分
その他の加算措置 定年前早期退職特例措置(2%～20%加算) (退職時特別昇給制度なし)	その他の加算措置 定年前早期退職特例措置 (割増率2～4.5%加算)
1人あたり平均支給額 11,912千円	

(注) 1 退職手当の1人あたり平均支給額は、R6年度に退職した職員に支給された平均額である。

2 「応募認定・定年」のうち「定年」には、定年退職及び定年引上げ前の定年年齢に達した日以後その者の非違によることなく退職した場合を含む。

(3) 地域手当 (R7年4月1日現在)

支給実績 (R6年度決算)		— 千円	
支給職員1人当たり平均支給年額 (R6年度決算)		— 円	
支給対象地域	支給割合	支給対象職員数	国の制度(支給割合)
	2%	101人	2%

(4) 特殊勤務手当 (R7年4月1日現在)

支給実績 (R6年度決算)		1,800 千円	
支給職員1人当たり平均支給年額 (R6年度決算)		900,000 円	
職員全体に占める手当支給職員の割合 (R6年度)		1.8%	
手当の種類 (手当数)		8	
手当の名称	主な支給対象職員	主な支給対象業務	左記職員に対する支給単価
往診手当	医師	診療のため往診したとき	診療点数の70%以内
手術手当	医師	手術をしたとき	診療点数の50%以内
医務手当	医師	診療を本務とする職員	病院長 1月 500,000円以内 医師 1月 450,000円以内
研究手当	医師	医学に関し、知識、技術の向上を図る手当	病院長 1月 200,000円以内 医師 1月 150,000円以内
看護手当	看護師・ 准看護師	看護師等が夜間看護に従事したとき	1回 3,000円
看護業務手当	看護師長代理・ 主任看護師等	師長代理・主任看護師が一般病棟、外来に従事するとき	師長代理 1月 5,000円 主任看護師等 1月 2,000円
待機手当	訪問看護ステーション及び居宅介護支援事業所に勤務する職員	訪問看護ステーション及び居宅介護支援事業所に勤務する職員で利用者からの緊急連絡に対処するため、夜間・休日に待機したとき	平日 1回 1,000円 休日 1回 2,000円
防疫等作業手当	看護師・ 保健師	新型コロナウイルス感染症から生命及び健康を保護するために行われた作業	緊急の場合 1日 3,000円 (接触・長時間は 4,000円) 緊急の場合以外 1日 1,000円 (接触・長時間は 1,500円)

(5) 時間外勤務手当

支給実績 (R6年度決算)	11,706 千円
職員1人当たり平均支給年額 (R6年度決算)	147 千円
支給実績 (R5年度決算)	11,312 千円
職員1人当たり平均支給年額 (R5年度決算)	151 千円

(注) 職員1人当たり平均支給額を算出する際の職員数は、「支給実績 (R6年度決算)」と同じ年度の4月1日現在の総職員数(管理職員、教育職員等、制度上時間外勤務手当の支給対象とはならない職員を除く。)であり、短時間勤務職員を含む。

(6) その他の手当 (R7年4月1日現在)

手当名	内容及び支給単価	国の制度との異同	国の制度と異なる内容	支給実績 (R6年度決算)	支給職員1人当たり 平均支給年額 (R6年度決算)
扶養手当	○配偶者 3,000円 ○子 11,500円 ○父母等 6,500円 ○16～22歳までの子の加算 1人 5,000円	同		5,768千円	230,720円
住居手当	○借家[家賃16,000円超の場合] 家賃に応じて28,000円を限度に 支給	同		3,139千円	224,214円
通勤手当	○交通機関利用者 6ヵ月定期券代を全額 支給(上限なし) ○自動車等利用者 距離に応じて1,000円～ 22,280円を支給	異	○交通機関利用者 1ヵ月150,000円限度  ○自動車等利用者 距離区分相違により 支給額が異なる	4,441千円	71,629円
宿日直手当	宿日直勤務1回につき 4,400円	同		1,492千円	57,384円
管理職手当	課長、事務局長、会計管理者 40,000円 6級室長 20,000円	異	支給区分と支給額の 相違	5,400千円	337,500円
管理職特別 勤務手当	管理職手当支給職員が緊急に より休日等に勤務した場合 8,000円～10,000円を支給(6時 間を超える場合は5割増し) 管理職手当支給職員が災害や その他緊急の必要により平日 深夜に勤務した場合4,000円～ 5,000円を支給	異	支給区分と支給額の 相違	602千円	37,625円

## 5 特別職の報酬等の状況（R7年4月1日現在）

区 分		給 料	月 額	等
給 料	市 区 町 村 長	790,000 円 ( )	(参考) 類似団体における最高/最低額 850,000円 / 505,800円	
	副 市 区 町 村 長	641,000 円 ( )	710,000円 / 495,000円	
報 酬	議 長	285,000 円 ( )	375,000円 / 210,000円	
	副 議 長	230,000 円 ( )	307,000円 / 188,000円	
	議 員	210,000 円 ( )	286,000円 / 165,000円	
期 末 手 当	市 区 町 村 長 副 市 区 町 村 長	(R6年度支給割合) 4.5 月分		
	議 長 副 議 長 議 員	(R6年度支給割合) 2.55 月分		
退 職 手 当	市 区 町 村 長	(算定方式)	(1期の手当額)	(支給時期)
	副 町 長	790,000円×在職月数×0.35 641,000円×在職月数×0.25	13,272,000円 7,692,000円	任期毎 任期毎
	備 考			

- (注) 1 給料及び報酬の( )内は、減額措置を行う前の金額である。  
 2 退職手当の「1期の手当額」は、4月1日現在の給料月額及び支給率に基づき、1期(4年=48月)勤めた場合における退職手当の見込額である。

## 6 職員数の状況

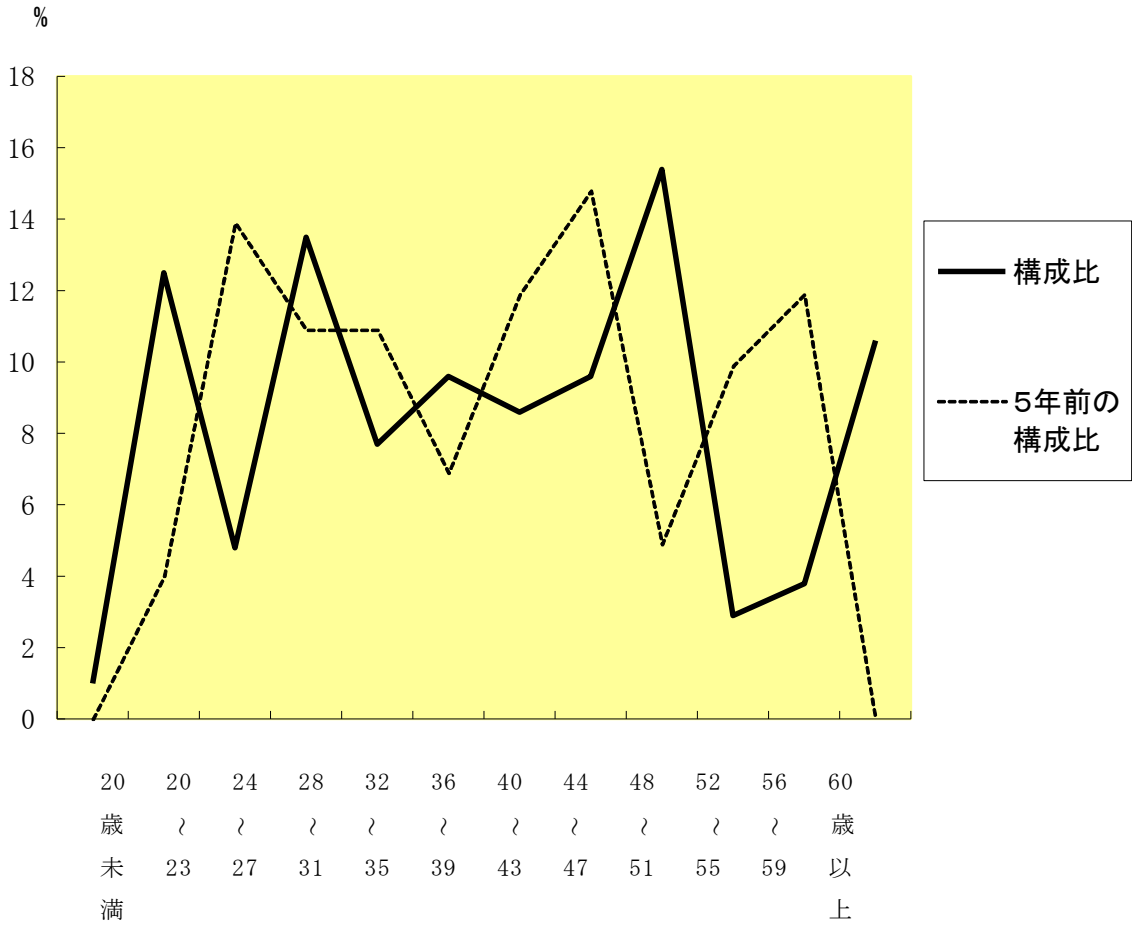
### (1) 部門別職員数の状況と主な増減理由

(各年4月1日現在)

部 門	区 分		職 員 数		対 前 年 増 減 数	主 な 増 減 理 由
			令和6年	令和7年		
普 通 会 計 部 門	一 般 行 政 部 門	議 会	2	2		組 織 再 編 ・ 人 事 異 動 に よ る 増 組 織 再 編 ・ 人 事 異 動 に よ る 増 組 織 再 編 ・ 人 事 異 動 に よ る 減 組 織 再 編 ・ 人 事 異 動 に よ る 増 組 織 再 編 ・ 人 事 異 動 に よ る 増
		総 務	19	18	△ 1	
		税 務	7	7		
		民 生	19	19		
		衛 生	13	11	△ 2	
		農 林 水 産	6	5	△ 1	
		商 工	8	9	+ 1	
土 木	6	5	△ 1			
		計	80	76	△ 4	<参考> 人口1万人当たり職員数 113.79人 (類似団体の人口1万人当たり職員数 121.01人)
		教育部門	17	17		組 織 再 編 ・ 人 事 異 動 に よ る 増
		小 計	97	93	△ 4	<参考> 人口1万人当たり職員数 139.24人 (類似団体の人口1万人当たり職員数 144.41人)
公 営 企 業 計 等 部 門		病 院	0	0		
		水 道	7	7		
		そ の 他	5	4	△ 1	
		小 計	12	11	△ 1	
		合 計	109 [ 120 ]	104 [ 120 ]	△ 5	<参考> 人口1万人当たり職員数 155.71人

- (注) 1 職員数は一般職に属する職員数である。  
2 [ ]内は、条例定数の合計である。

(2) 年齢別職員構成の状況 (R7年4月1日現在)



区分	20歳未満	20歳 23歳	24歳 27歳	28歳 31歳	32歳 35歳	36歳 39歳	40歳 43歳	44歳 47歳	48歳 51歳	52歳 55歳	56歳 59歳	60歳 以上	計
職員数	1人	13人	5人	14人	8人	10人	9人	10人	16人	3人	4人	11人	104人

(3) 職員数の推移

(単位：人・%)

部門別 \ 年度	R2年	R3年	R4年	R5年	R6年	R7年	過去5年間の増減数(率)
一般行政	76	74	78	76	80	76	0(0%)
教育	14	15	15	15	17	17	+3(+21.4%)
消防	—	—	—	—	—	—	
普通会計計	90	89	93	91	97	93	+3(+3.3%)
公営企業等会計計	11	11	12	12	12	11	0(0%)
総合計	101	100	105	103	109	104	+3(+2.9%)

(注) 1 各年における定員管理調査において報告した部門別職員数。